

馬電菱の実会だより (No. 59)

4月22日(水)に
平成10年度

菱の実会 総会・懇親会 を開催!

先日の幹事会において、第13回を迎える今年度の「馬電菱の実会」総会および懇親会を、4月22日(水)に行うことを決定しました。会員の皆様は万障お繰り合わせの上、ぜひご出席願います。

なお総会は例年のようにゲストホール、懇親会は昨年同様「東楊軒」で行いますが、昨年に比べ、総会の時間を20分増やし、1時間にしたので、懇親会の開始および終了時間も30分ほど遅くなります。当日の概要のスケジュールは次の通りです。

- | | | | |
|----------------|------|----------------|------|
| 1. 14:00~14:45 | 工場見学 | 3. 15:55~16:10 | 記念撮影 |
| 2. 14:50~15:50 | 総会 | 4. 16:30~18:30 | 懇親会 |

その他、会費(平成10年度会費、懇親会費)、当日の送迎方法、駐車場など昨年と同じですが、詳しい案内は「菱の実会だより 4月号」でお知らせします。

※注 総会に出席できない方で、年会費を「現金書留」などで送金してくれる方がありますが、こちらから5月号(または6月号)の菱の実会だよりに同封する「郵便振替用紙」で送金して下さい。(送金の手数料が70円で済みます)

会員募集

4月1日 三菱電機群馬ボランティア会 発足!

先月号の菱の実会だよりでお知らせしたように、いよいよ4月1日から「三菱電機群馬ボランティア会」(略称MGV)が発足します。

この会は“「地域社会に開かれた企業、地域社会に貢献する企業」への挑戦をめざして設立するもので、個人と企業のボランティア活動を自主的かつ組織的に行い、もって地域社会の健全な発展と個人の成長に資することを目的(規約より)”にしています。

最近の世の中は、物質面では豊かになったものの、心のふれ合いとか、互いに助け合う気持ちなどが薄れてきたように感じられます。相手に喜ばれ、そして自分の心も豊かになれば…。まずはそんな気持ちで入会してみてください。

なお入会者には、あらためて会の規約や年間予定行事表(現在検討中!)などをお送りしますが、その中からあなたの参加できる活動だけに参加して下さいれば結構です。(なお近隣の会員の方には、入会申込書を同封しましたが、入会できる方は、まずは事務局へ電話での申し込みも受け付けていますので、よろしく願います!)

会員投稿

走馬燈(3)

桐生市 穴原保二

◎空襲警報(2)

「グラマンの機銃掃射のはじまり、生まれて初めて見る戦争だ」飛行場の方を見ると、飛び立ち遅れた日本機めがけて、ダダ・ダと砂煙が一直線で走り、飛行機に近づくとポッと黒い煙と炎になり、日本軍の飛行機が燃えている。次々とグラマンが突っ込んできては舞い上がって行く。そのたびに日本軍の飛行機が燃え出す。

グラマンの操縦士にも機銃掃射のへたな者もいる。木の上から見ていると半分は飛行機に命中しない。この間長く感じたが、10分程度だったと思う。機銃掃射も終り、グラマンが西の空へ飛び上がり、また編隊を組んで南の方へ飛んでいってしまった。

グラマンが見えなくなった頃、日本軍の飛行機がどこからともなく、1機また1機と舞い降りてきた。空中戦をするために飛び立ったものと思っていたら、機銃掃射をされないために逃げ出した飛行機だった。

この時、日本は戦争に負けると子供ながらに確信した。

家に帰り、母に今日の出来事を話すと「今日見てきたこと、戦争に負けるなど絶対に学校や他人に話してはいけない」と言われた。もし話したことがわかると憲兵に親が連行されるのだ。でも、ついこの話をある1人の学校の先生にしたところ、目を輝かしてよく話を聞いてくれた。叱られると思ったら叱られずに済んだ。

その先生も今は亡き人となってしまった。



◎松飾り

昭和17年元旦の朝、5時頃目が覚めた。布団から出るのは寒くて大変だ。でも身震いしながら布団から出て、綿の学生服をきて、その上に兄貴のお下がりのオーバー(従兄弟のお下がりである)を羽織り、足袋を履き、下駄履きで家を出た。持物は米の一斗袋1枚である。

母に見つからないように、そっと勝手口から表に出た。外はまだ真っ暗闇だ。この季節でも私のような一般家庭の子供は、手袋など買って貰えない。だから鼻水が出ても手の甲でこすするため、ほとんどの子供は手にヒビやアカギレを切らしていた。

オーバーのポケットに手を入れ、襟を立てて集合場所に向かった。寒さのあまり身震いがし、歯も良く合わずガタガタ震えながら急いだ。まだ朝も早いので、凍りついた道を下駄履きで歩くのは大変だ。

集合場所に着くと今日のリーダー、朝鮮人のシノ(名前である)が、みんな集まれと指示する。独特の朝鮮語と日本語とのチャンポンで実行計画を説明し、いよいよ出発である。

今日の子定は、松飾りに付いているミカンを、1町内全部外してしまうのである。いささか、いくら悪戯鬼の俺でも、今日のイタズラはあまり気が進まない。しかし同じ悪戯鬼仲間、気おくれするわけにもいかず、どうにでもなれの気持ちで出発した。

考えてなくても、正月用松飾りのミカンを盗むのは誰が聞いてもまずいし、神様・仏様もきっと怒るはずである。こんな悪いことはさすがの俺も生まれて始めてだ。

目的の町内に着いた。打ち合せどうり身長の高い者が小さい者を肩ぐるまにして、各家の玄関にある松飾りのミカンを外し、下にいる者は米袋の中にミカンを詰め、このような手口は悪戯鬼グループには簡単なやり口だ。それでも1町内約50軒も盗るのは大変であった。音のしないように、そっと竹串に刺してあるミカンを荒縄から串ごと外し、下にいる受けとり役に落とす。受けとり役は受けとったミカンから、竹串を抜き取り、米袋にミカンだけ入れる。

今の時代と違い、犬を飼っている家は幸いなことに1軒もなかった。当時のミカンは大きく、今の倍ほどの大きさはあった。かれこれ米袋2杯になったので、リーダーの指示でこれで止めることにした。打ち合せ通りの場所に一時隠すこととし、ひとまず解散し、朝10時に渡良瀬川の河原に集合することになった。

予定時刻に渡良瀬川河原に集合し、ミカンも2袋届いた。このミカンをどう処分するのか各人の言い分があり、なかなかまとまらなかった。

最後に決ったのはミカンの遠投であった。ミカンの遠投と言っても、2袋も川に投げるのは大変であった。あんなに苦勞して盗ったのに、全部川に投げ入れたのである。なんとバカげたことだろう。

でもこの時はなぜかいい気持ちだった。当時ミカンを食べたくて盗ったのではなく、今考えてみれば、たんなるイタズラなのだ。現代ならば新聞沙汰だろう。

この時のリーダー、朝鮮人「シノ君」は、終戦後韓国へ引き揚げて行ってしまった。最近わかった

ことだが韓国で大学教授をしているそうだ。(つづく)



カラオケ愛好会から、参加費値上げの「お知らせ」

カラオケ愛好会は、発足当時から参加費1人あたり2,000円で開いてきましたが、いままでの飲物・食べ物の質と量を維持していくのが、だんだん難しくなってきました。そして予備費も少なくなってきました。

そこでカラオケ愛好会役員および菱の実会幹事会にて打ち合せの結果、やむを得ず平成10年3月より参加費を1人あたり2,500円に値上げすることになりました。ご了承いただくとともに、今後もより一層の参加をお願い申し上げます。

◆ おしらせ (2) ◆

1. 3月のグラウンドゴルフ月例会

- 日 時 3月30日(月) 午前9時より ●会 場 利根グラウンドゴルフ場
- その他 参加希望者は直接会場へ

2. 4月のカラオケ月例会

- 日 時 4月6日(月) 午後5時より ●会 場 睦荘 YOU遊ホール
- 申 込 愛好会役員(小塚さん: ☎0276-31-7894)まで

3. 3月の「囲碁」入門講座 →会場変更のお知らせ

- 講座日 3月9日(月)・16日(月) 午前10時～11時30分
 - 会 場 (旧)体育館 余暇開発室 →(新)研修センター1教室A
- ※3月中は社員の定期健康診断を体育館で実施するため

第10回(冬季)グラウンドゴルフ大会

優勝 **高井 宏**さん 準優勝 **滝 亀三郎**さん
 (ハンディキャップ1を加えてスコア59) (ハンディキャップ5を加えてスコア60)

第10回(冬季)グラウンドゴルフ大会は、2月23日(月)、好天の中、利根グラウンドゴルフ場で開きました。

当日の参加者は過去タイ記録の29名。スコアもレベルが高く、アンダースコアが15名と参加者の半数を越えました。

また滝亀三郎さん、根岸佳代子さん、初参加の小此木光二さんが、それぞれホールワンインを2本ずつ、そしてホールワンイン1本は白井敬郎さん、伊沢昭一郎さん、斎藤慶蔵さん、高井宏さんでした。

編集後記 ● 16日間にわたった冬の祭典、長野五輪も無事に閉幕しました。

● 日本選手もよく健闘し、期待以上の感動的な活躍で、ともすれば暗いニュースの多い今日この頃に、明るい話題と活力を与えてくれました。そして友好と平和の尊さをしみじみと感じさせてくれました。

● まだまだ寒い日々ですが、適度な運動で健康保持に励みましょう。(永 沼)